

<p>団 体 名</p>	<p>おせっ会</p>
<p>説明文</p>	<p>会の名前は、①「お節介をやく」②「お節介な人」という意味の「おせっ会」です。</p> <p>設立は、平成 30 年 12 月 22 日。町内の高齢者がたびたび問題を起こし、その対応策として</p> <p>包括支援センターを中心としたネットワークが構築されました。老人クラブのメンバーの一人から農園 2 反歩の提供があり、その活用について月一回の会合が開かれ、ここで協議の結果、有志 13 名で「おせっ会」を設立し、農園を利用した地域交流活動を開始しました。</p> <p>活動の目的は、地域の園児・小学生とその保護者、老人クラブ会員、グループホーム「もみじ」、包括支援センター「みのり」の入所者を対象とした、収穫祭・観賞会、三世代教室を運営することです。昔のような「人が集まり、団欒する」場を提供しています。</p> <p>主な活動内容は、①年間を通して、農園に野菜や花を栽培する。②種まきから収穫まで、</p> <p>会員が協力して行う。③収穫祭・観賞会を季節ごとに行う。④月一回の草取り及びお楽しみ会。⑤次の世代の子どもたちに伝えていく、三世代教室（論語塾、折り紙教室、読み聞かせ）</p> <p>⑥茶道教室、⑦お金の使い方を学ぶ「駄菓子屋さん」の運営です。</p> <p>嬉しいことがありました。</p> <p>その 1 毎月、活動資金を送ってくれる会員の小学校時代の同級生</p> <p>その 2 毎日、散歩道の途中、草取りをしてくれる老人</p> <p>その 3 活動に参加している老人ホームの入所者、93 歳のことば「三世代教室の資料と</p> <p>折り紙は、棺桶に入れてください」</p> <p>その 4 会員のお孫さんからの年賀状「たのしい ろんごのじゅぎょうをひらいてね」</p> <p>私たち会員に「感動」と「楽しさ」を与えてくれています。</p>